

「長崎LOVERS育成プログラム」につながる取組み(令和2年度予算計上事業)[市長部局]

	事業名	事業概要・目的・効果	担当課	
必要な社会的基盤となる職業的自立能力を身付けて付ける	(仮称)長崎若者会議の設置 (「長崎×若者」推進費)	若者が実現したいアイデアや企画にチャレンジできる場として、15歳から34歳までの若者で構成する(仮称)長崎若者会議を設置する。	都市経営室	1
	高校生チャレンジショップ事業	若者の企画やアイデアを実現につなげるための「チャレンジできる場」の仕組みをつくることで、若者に「選ばれるまち」を目指すため、高校生の企画、運営によるチャレンジショップを実施し、将来的な地元就職や創業について検討するきっかけをつくる。	商工振興課	2
	企業見学バスツアー (長崎工業会補助:ものづくり支援費)	長崎市域内の製造業を中心に、人材育成・生産性向上等の競争力強化や人材確保等の経営力強化を行う長崎工業会の取組みを支援する。 このうち、企業見学バスツアーについては、高校生の地場企業の魅力や仕事への理解を深め、興味や関心、就職意欲を高めることを目的とする。	商工振興課	3
	地元企業紹介番組の制作 (若年者雇用促進事業)	地元企業が培ってきた技術や製品、独自の取組み及び社風等を紹介するテレビ番組(長崎キラリカンパニー)を制作・放送する(毎月1社)。番組放送のほか、動画投稿サイトで公開するとともに、市立中学校など市内外の教育機関へ番組DVDを配布する。	産業雇用政策課	4
	地元企業紹介書籍の発行 (若年者雇用促進事業)	地元企業及び長崎で暮らす魅力を発信する書籍(NAGASAKI WORK STYLE)を市内出版社と共同発行する。書籍は市立中学校など市内外の教育機関や各種就職イベントの参加者に配布する。	産業雇用政策課	5
	子ども農山漁村交流体験 (グリーンツーリズム推進費)	小中学生が農山漁村の文化や豊かな自然に親しみ、グリーンツーリズムの体験を通して地域の人と触れあい豊かな人間性を育む。	農林振興課	6
	環境副読本「わたしたちのくらしと環境」の製作・配布 (環境啓発推進費)	授業で環境に関する学習を行っている市内小学校の5年生、6年生に対し、環境副読本「わたしたちのくらしと環境」を製作・配布し、環境学習におけるサポートや環境保護意識の高揚を図る。	環境政策課	7
	小学校社会科副読本「くらしとリサイクル」の製作・配付 (資源ごみ処理費)	授業でごみ処理に関する学習を行っている市内小学校の3年生、4年生に対し、環境教育の補助教材「くらしとリサイクル」を製作・配布し、くらしとリサイクルのしくみを知る。	廃棄物対策課	8
	学校における模擬選挙	将来有権者となる中学生を対象に模擬選挙を実施することで、社会の一員であるという自覚を持ってもらい、政治・選挙の意義や仕組みを知る。	選挙管理委員会	9

「長崎LOVERS育成プログラム」につながる取組み(令和2年度予算計上事業)[市長部局]

	事業名	事業概要・目的・効果	担当課	
グローバルな視点を身に付ける	(仮称)長崎若者会議の設置 〔「長崎×若者」推進費〕【再掲】	若者が実現したいアイデアや企画にチャレンジできる場として、15歳から34歳までの若者で構成する(仮称)長崎若者会議を設置する。	都市経営室	10
	子どもゆめ体験事業	次世代を担う長崎の子どもたちを姉妹都市・市民友好都市等に派遣し、現地の人々との交流を通じて「個性輝く世界都市」としての人的ネットワークを拡大するとともに、文化・習慣などを肌で感じることで、国際性を有する人材の育成を図る。	国際課	11
	国際理解出前講座	国際交流員が団体や学校からの申込みを受け、出身国の文化、生活習慣、社会情勢などを日本語で紹介することにより、市民の異文化理解を深める。	国際課	12
	外国文化体験出前講座	将来の国際交流の担い手となる小・中学生を対象として、学校からの申込みに応じ、国際交流員が各国の文化や料理等を授業の一環として体験してもらうことで、外国に対する理解を深め、国際交流のきっかけをつくる。	国際課	13
	異文化ちゃんぽんフェスタ	市民(特に小・中学生)及び外国人住民に世界各国の文化を紹介するイベントを実施し、異文化に対する理解を深めるとともに、市民と外国人住民の国際交流のきっかけをつくる。	国際課	14
	あじさいEnglish Day ～Kid'sコース～	長崎市国際ボランティアが企画・運営し、長崎市内の小中学生(1～3年生)を対象に、外国人とのコミュニケーションやゲームを通じて、英語に触れ合いながら国際交流を体験してもらう。	国際課	15
	平和祈念式典行事費(式典への 姉妹都市の高校生の招待)	平和祈念式典に招待する姉妹都市の高校生と市内の青少年がピースフォーラム等の機会を捉えて交流を図る。	調査課	16
	青少年平和交流	日本の将来を担う高校生が、被爆の実相を学び、核兵器を巡る国際情勢が緊迫する中、長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)や現地平和教育機関と共同で現地の若者と意見交換会を開催し、互いに学び合うことで、世界に向けて原爆の悲惨さや平和の尊さを発信することを目的に、高校生を海外へ派遣する。	被爆継承課	17

「長崎LOVERS育成プログラム」につながる取組み(令和2年度予算計上事業)[市長部局]

	事業名	事業概要・目的・効果	担当課	
長崎のまちを愛する気持ちとそれを行動に移す力を養う	(仮称)長崎若者会議の設置 〔「長崎×若者」推進費〕【再掲】	若者が実現したいアイデアや企画にチャレンジできる場として、15歳から34歳までの若者で構成する(仮称)長崎若者会議を設置する。	都市経営室	18
	長崎〇〇LOVERSプロジェクト	長崎の多様な魅力を市民が自ら考えて伝える取組みとして、長崎〇〇LOVERSプロジェクトを推進している。長崎〇〇LOVERSのロゴマークの〇〇に長崎市民の皆さんがスキな長崎の「モノ・コト・バシヨ」を入れて楽しみながら発信することで、これまで知らなかった長崎の魅力を自ら考えてもらい、長崎のことをさらに好きになっていくとともに、域外の新たな長崎ファンの創出につながるプロジェクト。	長崎創生推進室	19
	平和学習発表会開催	長崎市の中学校の代表が一堂に会し、日頃取り組んでいる平和学習の成果発表などを通して、各学校における生徒の平和の取組みを発展させる機会とする。	被爆継承課	20
	青少年平和交流【再掲】	日本の将来を担う高校生が、被爆の実相を学び、核兵器を巡る国際情勢が緊迫する中、長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)や現地平和教育機関と共同で現地の若者と意見交換会を開催し、互いに学び合うことで、世界に向けて原爆の悲惨さや平和の尊さを発信することを目的に、高校生を海外へ派遣する。	被爆継承課	21
	青少年ピースフォーラム	8月9日の平和祈念式典にあわせて、全国の自治体が派遣する平和使節団の青少年と長崎の青少年と一緒に被爆の実相や平和の尊さを学習し、交流を深めることで平和意識の高揚を図り、被爆地長崎から平和を発信する。	被爆継承課	22
	青少年ピースボランティア育成	青少年が被爆の実相や戦争について学び、さまざまな視点から平和について考え、行動することにより、長崎の被爆体験の継承と平和意識の高揚を図る。	被爆継承課	23
	放課後子ども教室	小学校区において、放課後又は週末等に小学校等を使用し、地域と学校が連携・協力して、学習や様々な体験・交流活動の機会を提供することにより、地域や地域住民を知る。	こどもみらい課	24
	長崎学児童研究コンクール	郷土長崎市に関わる歴史、地理、伝統などの研究を通して、郷土に対する関心を高め、郷土の歴史や文化を大切にできる心情を養う。また、児童の郷土研究を顕彰することで次世代の長崎学継承者を育てることを目的とする。	長崎学研究所	25
	景観教育	将来の担い手となる子どもたちが、「景観」を通して自分たちのまちの歴史・文化・自然等を知り、考え、郷土愛を高め、「地域に住みたい、戻りたい、貢献したい」と思う大人へと成長し、地元就職者の増加や若者流出の削減による定住人口の増加の一助を担うため、景観専門監と長崎市景観整備機構と連携し、景観形成重点地区(東山手・南山手、中島川・寺町、館内・新地、平和公園、外海、深堀、高島)の小学生(4~6年生)を対象とした景観教育を行う。また、実施の際にはまちづくり団体や地域の方の参画も促す。	景観推進室	26

「長崎LOVERS育成プログラム」につながる取組み(令和2年度予算計上事業)[教育委員会]

	事業名	事業概要・目的・効果	担当課	
必要な社会的・職業的・自立能力を身に付けて付ける	中学生議会 (キャリア教育推進事業)	市立中学校生徒会のリーダーが市議会議場にてテーマに基づき意見交換を行う場を設けることで、自主性、リーダー性、企画力、創造力等の向上と、各学校の生活会活動の活性化を図る。	学校教育課	27
	キャリア教育講師の派遣 (キャリア教育推進事業)	地元長崎で活躍している医療、福祉、建築、スポーツ等の専門家や職業人を小中学校に派遣し、職業講話などの交流を行うことを通して、社会的、職業的に自立し、社会の中で自分の生き方を果たしながら自分らしい生き方を実現させようとする態度を育成する。	学校教育課	28
	宿泊体験推進事業 (キャリア教育推進事業)	小学5年生の全ての児童が、日吉自然の家(自然体験型宿泊研修施設)での集団宿泊活動に加えて、地域の農家、水産業者などとの協働により長崎ならではの農業・水産業に関する体験を行い、ふるさと長崎のよさを実感させることで郷土愛を育む。	学校教育課	29
	市立学校間ふれあい交流 (キャリア教育推進事業)	極小規模校の児童生徒と中規模・大規模校児童生徒のふれあい交流により、集団規模による個々の役割の違い、児童・生徒活動の運営方法の違い、規模によらない共通点などを捉え、児童生徒の人間関係力、コミュニケーション能力の向上を図る。	学校教育課	30
	いわき市との交流 (キャリア教育推進事業)	福島県いわき市の中学生と長崎市の中学生が平和学習の成果を交流することによって、平和追求の思いや考え方について相互理解を深めるとともに、日ごろ各学校のリーダーとして活躍する中での喜びや悩みについて意見交換を行い、リーダー性の向上を図る。	学校教育課	31
	弁護士による法教育 (キャリア教育推進事業)	小・中学校において弁護士による「法教育」を実施することによって、法を正しく理解し社会の中で自分の生き方を果たしながら自分らしい生き方を実現させようとする心を育てる。	学校教育課	32

「長崎LOVERS育成プログラム」につながる取組み(令和2年度予算計上事業)[教育委員会]

	事業名	事業概要・目的・効果	担当課	
グローバルな視点を身に付ける	英語でおもてなし講座	子どもから大人まで、長崎を訪れる外国人を「お客さん」ではなく「仲間」として自然に受け入れ「おもてなし」の気持ちや態度で、片言の英語でも自然にコミュニケーションがとれる光景があたり前のように存在する「英語でおもてなしができるまち長崎」を目指して公民館講座を実施する。	生涯学習課 大型公民館	33
	長崎の宝発見・発信学習推進事業(キャリア教育推進事業)	長崎の歴史や世界遺産等を学習する活動を通して、そのよさを実感し、ふるさと長崎に誇りを持ち、長崎が持つ世界的な価値を発信できる児童生徒の育成を目的とする。	学校教育課	34
	あじさい・イングリッシュ・スピーチ・コンテスト(国際理解教育推進費)	市立中学生が対象。国際共通語である英語を使って「ふるさと長崎」に関する話題について発信することを通して、国際舞台で活躍できる人材を育てることを目的とする。	学校教育課	35
	あじさい・イングリッシュ・デイ(国際理解教育推進費)	市内の小学生対象。外国人(ALT)と英語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体感させたり、日頃の英語学習の成果を試したりする機会を提供する。英語力の向上と国際感覚の醸成を図るとともに、鎖国時代、西洋に開かれた唯一の窓口であった出島や長崎に関わる場所に対する知識を深め、郷土愛を育てることを目的とする。	学校教育課	36
	英語寺子屋(国際理解教育推進費)	市立の中学生が対象。市が求める温かなコミュニケーション能力と、国が求める英語力(英検3級相当)の育成を図るために中学校にEEIを派遣し、おもてなし英語講座や学力向上講座を提供する。	学校教育課	37
	あじさいグローバルリーダー研修会(国際理解教育推進費)	市立の中学生が対象。あらゆる人々との共生の道を探ろうとする豊かな心を育てるとともに、長崎のよさを再発見させることでグローバルな視点を持って長崎のまちづくり(社会づくり)をしようとする「担い手」を育てることを目的とする。	学校教育課	38
	平和教育推進事業	「平和の創造」を新たな柱に加えた新しい平和教育の推進を通して、「他者の意見を尊重しながら自分の言葉で平和を語り、行動できる児童生徒の育成」をめざす。具体的には、平和教育教材「平和ナガサキ」を使用した事前、事後の学習などを行った上で対話型授業を行い、平和について多面的・多角的に考える過程の中で、国際協調の精神を育てていく。	学校教育課	39
長崎のまちを愛する気持ちを養う それを行動に移す力を養う	長崎の宝発見・発信学習推進事業(キャリア教育推進事業)【再掲】	長崎の歴史や世界遺産等を学習する活動を通して、そのよさを実感し、ふるさと長崎に誇りを持ち、長崎が持つ世界的な価値を発信できる児童生徒の育成を目的とする。	学校教育課	40
	中学生議会(キャリア教育推進事業)【再掲】	市立中学校生徒会のリーダーが市議会会議場にてテーマに基づき意見交換を行う場を設けることで、自主性、リーダー性、企画力、創造力等の向上と、各学校の生活会活動の活性化を図る。	学校教育課	41
	宿泊体験推進事業(キャリア教育推進事業)【再掲】	小学5年生の全ての児童が、日吉自然の家(自然体験型宿泊研修施設)での集団宿泊活動に加えて、地域の農家、水産業者などとの協働により長崎ならではの農業・水産業に関する体験を行い、ふるさと長崎のよさを実感させることで郷土愛を育む。	学校教育課	42
	いわき市との交流(キャリア教育推進事業)【再掲】	福島県いわき市の中学生、東京都国立市の小学生と長崎市の小・中学生が平和学習の成果を交流することによって、平和追求の思いや考え方について相互理解を深めるとともに、日ごろ各学校のリーダーとして活躍する中での喜びや悩みについて意見交換を行い、リーダー性の向上を図る。	学校教育課	43
	まちづくりアイデアコンテスト(キャリア教育推進事業)	これからのまちづくりを担っていく子どもたちに、自分たちもまちづくりの主役であるという意識(当事者意識)を育て、地域や社会をよくするために何をすべきかについて考え、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。	学校教育課	44